

# (特活)関西 NGO 協議会 2018 年度活動報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

3 月の関西 NGO 協議会 30 周年を機に SDGs ローカルアジェンダづくりの機運が高まったことで、関西 NGO 協議会加盟団体を中心に「KANSAI-SDGs 市民アジェンダ」策定の取り組みがはじまった。7 月から 3 月にかけて、若い世代の取り組みや関連フォーラムも含め、合計 8 の分科会・フォーラムが開催され、NGO/NPO を中心に、多くの市民に参加いただき、誰も取り残さない社会を考えるための「市民の声」を広く集めた。こうした SDGs に対する市民の取り組みが広がりを見せることで、様々な団体や地域とつながる機会が増え、他セクターとの連携・協働事業が促進された年となった。

2014 年度より開催している、関西地域における若い世代の国際協力啓発活動『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth』は、多く高校生の参加を得て、若い世代の国際協力イベントとして関西に定着してきた。事業規模が大きくなるにつれて、事務局業務量が増える中、今後は他団体の協力も得ながら、事業の継続を語る予定である。また、今後の展開として、他の地域においても同様の取り組みが行われるよう、関心のある地域の団体/教育機関とは引き続き情報共有を進める。

連携促進事業としては、中小を含む企業と関西地域の NGO の連携を目的とした『かんさい CS ネットワークフォーラム』を継続して開催し、今年は、神戸、京都、大阪の三か所で実施した。企業と NGO が出会う場となっているが、具体的な成果までは見られない。一方、それぞれの地域の NPO センターや中間支援組織との協力関係や協働の在り方については成果がみられた。昨年度に引き継ぎ、国際開発学会社会連携委員会のセミナーを共催し、「C20 のプロセス 概要と主要アジェンダ」を契機に、その後の C20 や大阪市サミットへの参加につながった。

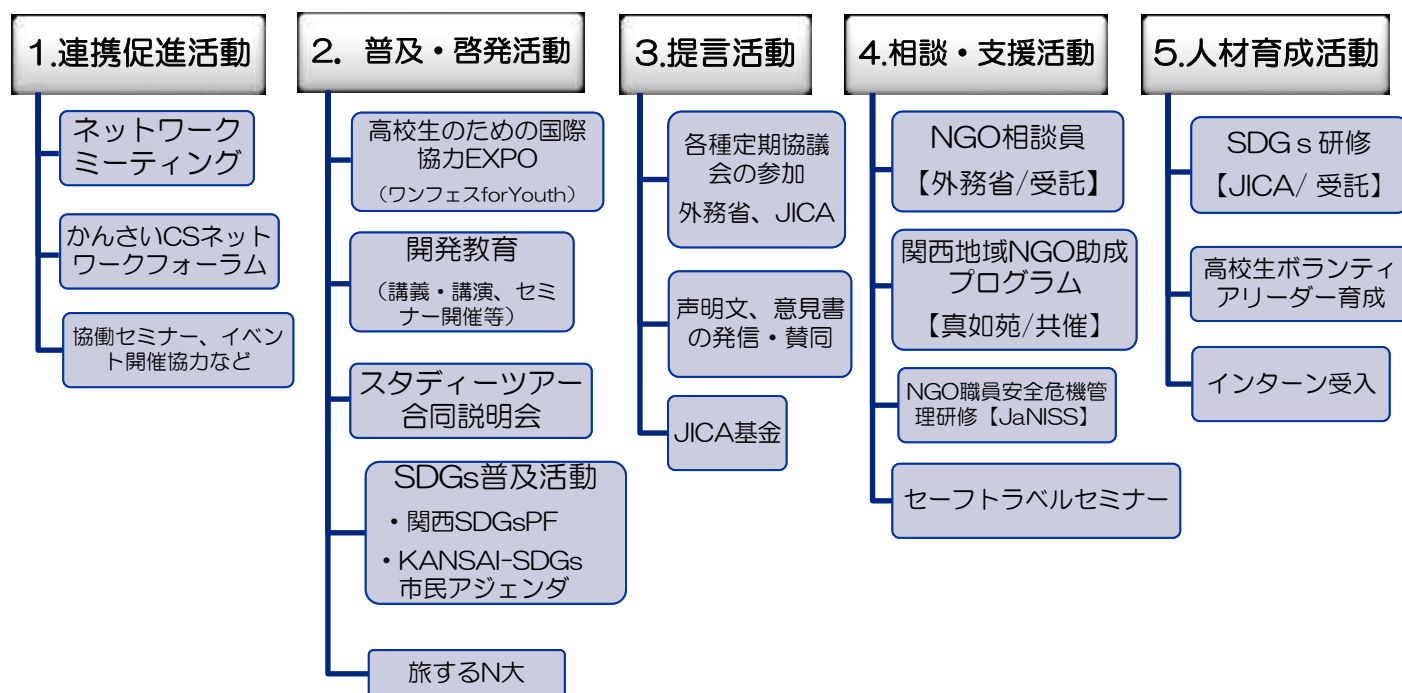
提言活動においては、当会から委員を派遣している NGO-外務省定期協議会連携推進委員会が、全国の NGO にアンケート調査を実施、「日本の NGO 強化策」を取りまとめ、外務省及び ODA 有識者懇談会に提言をおこなったことで、NGO 連携無償資金協力管理費増につながる成果を出した。また、NGO-JICA 協議会においては、JICA から受託事業として運営ロジを担当する JANIC と NGO 側 CDN との立ち位置を明確にし、JICA と NGO が対等に議論するための環境が徐々に整いつつある。NGO 側細則が変更となり、関西 NGO 協議会が NGO 側運営事務局を担うことになった。

人材育成事業については、SDGs 研修(SDGs を通して考える、社会課題解決のためのとりくみと協働)を開催し、地域の NPO、地方自治体、新聞社、学生団体からの参加があり、参加者層の広がりがみられた。また、中間支援組織、企業 CSR、コンサルタントなど多様な人材で運営委員会を組織し、関西地域独自の研修プログラムが実現し、今後和歌山など他地域でも開催する予定である。

組織強化においては、監事、理事、事務局職員が「第 1 回事業評価会」を実施し、理事・事務局がそれぞれの担当事業について、目標への到達点、事業性等を評価し課題を共有した。引き続き、事業・活動に優先順位をつけながら、求められる成果につなげていくための仕組みがつくられつつある。一方で、組織ガバナンスを強化し、組織内の問題に適切かつ迅速に対応することの重要性も認識され、引き続き、理事会・事務局が改善に向けて努力を重ねていく必要がある。

受託事業に頼る組織構造から自主事業の拡大に移行する過程で、少しずつ自主財源や事業寄付の増加につながってきている。また、数年前に問題となったキャッシュフローの課題が解決し、年間を通じて安定した財源を確保し活動が継続できている。今後は、事務局人員体制、労働環境を整備し、組織基盤の強化を図ることで、関西地域のネットワーク NGO として、市民社会の発展と国際協力の推進に貢献することを目指す。

関西 NGO 協議会 5本の活動の柱	
1	NGO 及び、他セクターとの連携促進活動
2	国際協力に関する知識の普及・啓発活動
3	国際協力を促進するための提言活動
4	NGO 活動に関する相談・支援活動
5	NGO 活動に関する人材育成活動



# 1. NGO 及び、他セクターとの連携促進活動

事業名(継続)	会員・加盟団体のためのネットワークミーティング
担当	理事・監事:熱田典子/三輪敦子/岩崎宏保 事務局:高橋
開催日と開催場所	2018年5月19日(土)13:00~14:15 @大阪聖パウロ教会 2階
テーマ	『市民によるSDGsアクションプランを考える』
参加者数	関西 NGO 協議会加盟団体・会員を中心に 20名
内容	3月に開催された関西 NGO 協議会設立 30周年記念レセプションを機に取り組むことになった「関西地域における SDGs ローカルアジェンダ策定」の取り組みの分科会共通の「テーマ」について、加盟団体の皆さんと考え決定する場とした。

事業名(継続)	第7・8・9回かんさいCSネットワークフォーラム ※JICS/連合・愛のキャンパ
担当	理事会:柏木・村尾、※第9回K-SDGs市民アジェンダ共催:熱田・田尻 事務局:松岡、高橋
協働先	(特活)しみん基金・KOBÉ、(特活)しゃらく、京のアジェンダ 21 フォーラム、(特活)きょうと NPO センター、(社福)大阪ボランティア協会
開催日	①第7回 2018年10月4日(木) 14:00~16:30 ②第8回 2019年2月8日(金) 14:00~17:30 ③第9回 2019年3月15日(金)14:00~16:30
開催場所	①神戸/協働と参画のプラットフォーム ②京都/ワコールスタディホール京都 ③大阪/キャンパス谷町(大阪ボランティア協会会議室)
共催・協力・後援など	①共催:(特活)しみん基金・KOBÉ、(特活)しゃらく 後援:関西SDGsプラットフォーム 協力:(社福)大阪ボランティア協会 ②共催:京のアジェンダ 21 フォーラム、(特活)きょうと NPO センター 協力:(公財)京都地域創造基金、(特活)KES 環境機構/KGPN(京都グリーン購入ネットワーク)、(社福)大阪ボランティア協会 後援:関西SDGsプラットフォーム ③共催:(社福)大阪ボランティア協会、(特活)市民基金・KOBÉ、京のアジェンダ 21 フォーラム 後援:関西SDGsプラットフォーム
受益者	各地域の中小・中堅企業、NGO/NPO、行政、教育機関関係者など ①40名、②56名、③20名
内容	資料1「企業とNPO/NGO:これからの協働のかたち～SDGs時代の社会的課題をコレクティブな協働で解決に導く～」 資料2「企業とNPO/NGO:これからの協働のかたち～SDGsでつなげる京都と世界～」 資料3「これからのパートナーシップを考える～SDGsがめざす協働とは～」

事業名(継続)	国際開発学会社会連携委員会 連携促進 ①「G20 大阪サミットにともなう市民社会との対話—G20のプロセスと主要アジェンダ」 ②「SDGs 達成に向けた資金をどう確保するのか～国際連帯税の可能性～」
担当	事務局:高橋
実施日時・実施場所	①2018年4月21日(土)14:00~16:30 甲南大学西宮キャンパス 201 教室 ②2019年3月2日(土)14:00~16:15 大阪肥後橋官報ビル 8F

受益対象者および人数	大学・研究機関、NGO、学生等 40 名 ①40 名 ②22 名
連携先	国際開発学会 社会連携委員会(セミナー主催者) 個人会員:岡島克樹
実施内容	<p>①2019 年、日本で開催される G20 サミット首脳会議は、大阪を開催地とすることが決定し、市民社会と政府が対話する C20 も開催される。この C20 とはなにか、登壇者には、そのプロセスや意義について解説いただくとともに、何が主要アジェンダになるのか、なるべきなのかを報告いただいた。また、昨今、国際会議のアジェンダは、2015 年 9 月に国連総会で採択された SDGs と関連づけられていることから、登壇者には、この SDGs との関係についても言及していただいた。</p> <p>■「C20 のプロセス概要と主要アジェンダーアルゼンチン C20 準備会合への参加を踏まえて」 登壇者:SDGs 市民社会ネットワーク 専務理事 稲場雅紀氏</p> <p>■コメント 登壇者:国際開発学会 会員・ヒューライツ大阪 所長 三輪敦子氏</p> <p>②吉本やキティーちゃんの紹介ビデオ、G20 大阪や万博など、認知が広がる SGD。日本を含む世界で貧困をなくし、地球環境をまもり、持続可能な社会を次世代に…という野心的な世界目標である。しかし、そのために必要な資金はいったいどのくらいになるのか？その資金はどこから来るのか？もう少し SDGs について詳しくなっておきたい方のための学習会を専門家にわかりやすく解説いただいた。</p> <p>■「SDGs 達成に向けた資金をどう確保するのか～国際連帯税の可能性～」 登壇者:横浜市立大学国際総合科学群 教授上村雄彦氏</p>

事業名(継続)	開発教育協会 d-lab2018 実践事例報告 高校生の「意識」を「行動」に変える仕掛を考える 「ワンワールドフェスティバル for Youth」の事例から
担当	事務局:谷川、高橋
協働先	開発教育協会 d-lab の参加者
開催日と開催場所	8 月 4 日 土曜日 @聖心女子大学グローバルプラザ
対象・参加者数	近所の学生、ご近所の方々 20 名
内容	次世代を担う若者が、国際的な課題に対する知識や情報を身につける「意識」のレベルから、実際に自分たちが主体的に課題の解決に向けて取り組む「行動」のレベルへの変容を、どう仕掛けるのか。この問いに対して、「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」等で取り組んできた事例を共有し、アイデアを出し合う場にした。

事業名(継続)	NGO 支援制度説明会
担当	理事:熱田、事務局:高橋 協力:NGO 相談員近畿ブロック NICC・PHD 協会
協働先	外務省国際協力局民間援助連携室
開催日と開催場所	2019 年 2 月 2 日(土) 16:20~17:20 @北区民センター/ワンフェス会場内
対象・参加者数	関西地域に拠点を置く国際協力 NGO、ワンフェスに参加している全国の NGO20 団体

協働先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・N連を含む NGO 支援制度の紹介(外務省)</li> <li>・ODA 有識者懇談会のうちNGO部分にかかる議論の紹介(外務省)</li> <li>・NGO 支援制度の紹介と予算逼迫問題に関する影響(JICA 関西)</li> <li>・中小規模団体支援を特徴とする NGO 支援事業 (日本国際協力システム JICS)</li> <li>・関西の民間の助成制度紹介(関西 NGO 協議会)</li> </ul>
-----	---

業名(継続)	<b>トークセッション</b> <b>「届けよう市民の声を、関西から世界へ ～G20 と市民社会の役割～」</b>
担当	理事:熱田 事務局:高橋
協働先	近畿ろうきん「社会貢献プロジェクト・笑顔プラス」、 KANSAI-SDGs 市民アジェンダ事務局
協力者・登壇者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューライツ大阪所長・2019 G20 サミット市民社会プラットフォーム共同代表 三輪敦子氏</li> <li>・開発教育協会監事・関西 NGO 協議会監事/岩崎裕保氏</li> <li>・関西 NGO 協議会副代表理事・アジア協会アジア友の会副事務局長/熱田典子氏</li> <li>・山科醍醐こどものひろば理事長/村井琢哉氏</li> <li>・日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)副事務局長/香川功氏</li> <li>・大阪ボランティア協会事務局長/永井美佳氏</li> </ul>
開催日と開催場所	2019年2月3日(日)14:00～16:00@北区民センター/ワンフェス会場内
対象・参加者数	国際協力、提言活動に関心のある方、NGO/NPO 関係者 60 名
内容	G20 大阪サミット開催に向け、あまり知られていない、G20 やエンゲージメント・グループの動きを紹介するとともに、大阪の市民社会(NGO・NPO・労組・生協等)が普段の活動を通じてどのような議論や政策提言ができるのか考える機会にした。

事業名(継続)	地域からSDGsを考える・関西学習会「だれひとり残さない社会」を考える <b>「経済成長の光と影～ギャンブル依存症と社会的孤立」</b>
開催日と開催場所	2019年2月5日(火)19:00～21:00 @CANVAS 谷町
担当	事務局:高橋、谷川
協働先	SDGs 市民社会ネットワーク、大阪ボランティア協会
対象・参加者数	関心のある市民、NGO/NPO 関係者 45 名
対象・参加者数	近所の学生、ご近所の方々20 名
登壇者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグイシュー日本共同代表、ビッグイシュー基金理事長/佐野章二氏</li> <li>・NPO法人AMネット 事務局長/武田かおり氏</li> <li>・一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 事務局長代行/新田英理子氏</li> </ul>
内容	「大阪・関西万博」の開催が決まり、IR・カジノを併せて誘致して経済活性化の相乗効果を高めようという声が強調されるなか、SDGsの理念である「だれ一人取り残さない」を実現しつつ、「経済」と「環境」と「社会」との調和を配慮した議論や計画になっているのか、「ギャンブル依存症と社会的孤立の問題」に焦点をあてて、経済成長と環境問題や社会問題の調和を図る方策について、市民セクターの立場から考えた。

## 2. 国際協力に関する知識の普及、啓発活動

事業名(継続)	※外務省事業補助金他/積水ハウスマッチングプログラムほか ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018～													
担当	事務局:谷川・高橋・佐久間 アルバイト:岩根 インターン:米川													
審査員協力	岩崎裕保氏(開発教育協会)、林田雅至氏(大阪大学教員)、熱田典子氏(アジア協会アジア友の会)、山上正道氏(AMDA 社会開発機構)、佐藤正隆氏(リタワークス(株))、石崎雄一郎氏(ウータン・森と生活を考える会)、和泉羽美氏(テラ・ルネッサンスインターン)、片田孫朝日氏(灘高校・教員)、池田拓也氏(灘高校・教員)													
実施日時	2018年12月24日(月・振替休日) 10:00～16:00													
実施場所	大阪 YMCA													
受益対象者および人数	参加者総数 6,000人(延べ)、参加高校 47校 (参加高校生・教員約1000人、関係者及びNGO約200人)													
共催・協力	【主催】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会(高校教員、加盟NGO職員で構成)、特定非営利活動法人関西NGO協議会 ※共同主催 【協力】大阪大学 CO デザインセンター、公益財団法人大阪 YMCA、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会、一般社団法人ソーシャルギルド													
実施内容	<p>【概要】①「世界的な視野を持って、社会課題の解決に向け行動がとれる次世代の育成」、②「関西地域で、高校生を含めた国際協力分野に関わるセクターのネットワークの強化・連携の促進」を目的とし2014年度より実施、今年度は第5回。</p> <p>事務局は関西NGO協議会が担当。企画立案や当日ボランティア・コーディネーションを高校生が夏から約半年の準備・研修期間を経て担当している。事業の中心にも高校生が主体的に関わる国際協力イベントである。</p> <p>本年度は参加者延べ人数、参加高校数ともに増加した。過去の参加者が教員となり、生徒を連れて参加する事例もみられた。本事業が参加高校生に与える影響については教員からも高い評価を得て、学校側との良好な協力関係を築いている。</p> <p>5回の開催を経て、地域で様々なセクターが協力して次世代を育成する事業のモデルとして、東京・愛知・岡山等のNGOや教育機関・地域国際協力センター職員等からの視察や問い合わせを受けている。今後も本分野での若い世代の育成や、多様なセクターとの連携・協働が益々重要となることから、2019年度も継続して開催する。</p> <p>【2018年度 事業の概要】</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018～』</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td>“開け入口!! 拓け未来!!”</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、バーチャルリアリティ体験コーナー、企業・NGOによるプログラム、高校生活動報告会、民族衣装ファッションショー、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど</td> </tr> <tr> <td>後援</td> <td>外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、開発教育協会</td> </tr> <tr> <td>協賛</td> <td>リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンプールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、ロート製薬株式会社、学校法人山口学園ECC社会貢献・国際交流センター、泉南乳業株式会社、株式会社マイチケット、(協力:大阪商工信用金庫※機材貸出)</td> </tr> <tr> <td>助成金等</td> <td>外務省NGO事業補助金事業、積水ハウスマッチングプログラム助成事業、日蓮宗あんのん基金助成事業</td> </tr> </table>		名称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018～』	テーマ	“開け入口!! 拓け未来!!”	内容	ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、バーチャルリアリティ体験コーナー、企業・NGOによるプログラム、高校生活動報告会、民族衣装ファッションショー、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど	後援	外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、開発教育協会	協賛	リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンプールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、ロート製薬株式会社、学校法人山口学園ECC社会貢献・国際交流センター、泉南乳業株式会社、株式会社マイチケット、(協力:大阪商工信用金庫※機材貸出)	助成金等	外務省NGO事業補助金事業、積水ハウスマッチングプログラム助成事業、日蓮宗あんのん基金助成事業
名称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2018～』													
テーマ	“開け入口!! 拓け未来!!”													
内容	ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画の講演・ワークショップ、安田菜津紀氏写真展・トークショー、バーチャルリアリティ体験コーナー、企業・NGOによるプログラム、高校生活動報告会、民族衣装ファッションショー、高校生交流スペース、外務省NGO相談員ブース、カフェ・ワンワールドなど													
後援	外務省、文部科学省、JICA 関西、ESD活動支援センター、近畿地方ESD活動支援センター、大阪府国際交流財団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、開発教育協会													
協賛	リタワークス株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、アサヒワンプールクラブ、真如苑、日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)、ロート製薬株式会社、学校法人山口学園ECC社会貢献・国際交流センター、泉南乳業株式会社、株式会社マイチケット、(協力:大阪商工信用金庫※機材貸出)													
助成金等	外務省NGO事業補助金事業、積水ハウスマッチングプログラム助成事業、日蓮宗あんのん基金助成事業													

事業名(継続)	第 18 回・第 19 回スタディツアー合同説明会
担当	事務局: 谷川
実施日時	夏期 第 18 回 6 月 23 日(土) / 秋期 第 19 回 11 月 17 日(土)
実施場所	龍谷大学大阪梅田キャンパス
受益対象者および人数	スタディツアーやワークキャンプに関心のある学生、社会人、シニア層
共催・協力	【共催】株式会社マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
実施内容	NGO が開催するスタディツアーやワークキャンプに関心のある市民を対象に複数の NGO が合同でスタディツアーやワークキャンプの情報を提供した。 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター、(株)マイチケット、関西 NGO 協議会との共催事業であるが、知名度もあり、多くの来場者が見込める事業であるため、関西 NGO 協議会では、NGO 相談員ブース出展・広報業務にて関わることとする。 ・外務省委託 NGO 相談員出張サービス: PHD 協会、関西 NGO 協議会が国際協力やキャリア等の質問や相談対応に応じた

事業名(継続)	講演、講座、講師紹介		
担当	事務局: 高橋 協力役員: 熱田、吉椿、東川、武田、栗田、他加盟団体		
実施内容	大学や他セクターからの依頼で、国際協力 NGO の活動や国際協力の潮流について、国外・国内の事例を併せ広く学生、社会人に周知する講座の講師、加盟団体への講師紹介。		
	講演・講義依頼(主なもの)	講義名	受講者人数
	龍谷大学(後期、全 15 回)	『国際 NGO 論』 ※NGO ユニット型講座	龍谷大学経済学部・法学部の学生 40 名

< 龍谷大学ユニット >

	授業日	講師名	テーマ	所属団体
1	9 月 26 日	高橋美和子	授業ガイダンス	(特活)関西 NGO 協議会
2	10 月 3 日	谷川詩織	持続可能な開発の目標(SDGs)について	(特活)関西 NGO 協議会
3	10 月 10 日	熱田典子	水の問題と保健衛生～ネパールの事例から～	(公社)アジア協会アジア友の会
4	10 月 17 日	奈良/鋤柄	途上国・日本国内での女性の自立を目指した支援	(特活)アジア女性プロジェクト AWEF
5	10 月 24 日	石崎雄一郎	ボルネオの熱帯林破壊と私たちの消費生活とのつながり	ウータン・森と生活を考える会
6	10 月 31 日	東川貴子	中国と日本～市民による緑化活動を事例に	(特活)緑の地球ネットワーク
7	11 月 7 日	栗田佳典	子ども兵の課題と日本の NGO の挑戦	(特活)テラ・ルネッサンス
8	11 月 14 日	役重善洋	パレスチナ/イスラエル問題から「民族」と「宗教」を考える	パレスチナの平和を考える会
9	11 月 21 日	小吹岳志	SDGs 目標 12 の達成を実現させる消費社会を考える	持続可能な消費ネットワーク
10	11 月 28 日	中尾秀一	難民の現状と日本在住難民の課題	(一財)難民事業本部
11	12 月 5 日	佐藤友紀	スマホから考える世界・わたし・SDGs	(特活)開発教育協会

12	12月12日	松岡秀紀	企業のサプライチェーンから人権問題を考える	(一財)アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)
13	12月19日	武田かおり	意見を政策に反映させ、よりよい社会の実現を目指す方法	(特活)AM ネット
14	2018年 1月9日	吉椿雅道	災害支援の現場から考える市民社会	(特活)CODE 海外災害援助市民センター
15	1月16日	高橋美和子	世界の課題の解決にむけたアクション	(特活)関西 NGO 協議会

事業名 (新規)	※地球環境基金
事業名	<b>KANSAI-SDGs 市民アジェンダ策定の取り組み</b>
担当	KANSAI-SDGs 市民アジェンダ事務局:岩崎、熱田、高橋 【分科会座長・副座長】教育:新田・田尻、国際:三輪・吉椿、国内:栗田・東川 【運営補助】谷川、米川、岩根
実施内容	<p>①「持続可能な開発目標:SDGs」の達成に向けて、関西の民間企業、市民社会・NPO・NGO、大学・研究機関、自治体・政府機関といった、多様なアクターが参加するプラットフォームとして設立され、熱田副代表が運営委員に選出された。今後運営委員会に参加することで、市民社会の声をプラットフォームの活動に反映させる。</p> <p>②関西 NGO 協議会 30 周年記念レセプション(3 月 31 日開催)にて、関西の市民が SDGs を考えプランを作るグループの設立が提案され、「国際」「国内」「教育」の三分科会の設立と、参加が呼びかけられた。</p> <p>■KANSAI-SDGs 市民アジェンダ策定の取り組みのための分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回分科会(9/11)『人権・ジェンダー』 発題者:三輪敦子 会場:大阪聖パウロ教会研修室 参加者:36 名</li> <li>・第 2 回分科会(10/27)『災害』 発題者:吉椿雅道 会場:大阪 YMCA 参加者:40 名</li> <li>・第 3 回分科会(12/8)『多文化共生』 発題者:田尻忠邦 会場:大阪 YMCA 参加者:45 名</li> <li>・第 4 回分科会(1/26)『教育』 発題者:新田和宏 会場:肥後橋官報ビル 参加者:40 名</li> <li>・第 5 回分科会(2/9)『持続可能な働き方・ビジネス・人権』 発題者:岡島克樹・松岡秀紀 会場:肥後橋官報ビル 参加者:40 名</li> <li>(第 6 回分科会(4/5)『環境』発題者:杵本育生 参加者:16 名)</li> </ul> <p>■市民アジェンダキックオフ大会の開催・北海道の先行事例に関する勉強会(7/7-8) ※市民アジェンダ策定プロジェクト準備会はキックオフ大会とあらためて開催し、北海道から小泉氏を招き、北海道 SDGs 市民アジェンダ関係者を含め延べ 40 名の参加@肥後橋官報ビル</p> <p>■高校生/大学生アジェンダ策定プロジェクトキックオフ大会の開催(12/24) 関係者を含め延べ 50 名の参加@大阪 YMCA</p> <p>■運営委員会の開催、</p>



	<p>市民プラン作り実施スケジュールや留意点等を協議、ネットワーク構想について具体化(合計 10 回、平均 9 団体が参加、延べ 90 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回運営委員会(4/23) 「関西における SDGs 市民アジェンダの策定について」 参加委員 9 名</li> <li>・第 2 回運営委員会(5/19) 「関西の課題を考える～SDGs に関心のある市民社会(NGO/NPO/企業/教育機関など)とのワークショップの開催について」参加委員 11 名</li> <li>・第 3 回運営委員会(6/11) 「北海道小泉氏講演会及びキックオフ大会の打合せ」 参加委員 9 名</li> <li>・第 4 回運営委員会(7/17) 「北海道小泉氏講演会及びキックオフ大会の振り返り」 参加委員 9 名</li> <li>・第 5 回運営委員会(8/31) 「第 1 回分科会テーマ及び担当者の打合せ」 参加委員 10 名</li> <li>・第 6 回運営委員会(10/4) 「第 1 回分科会振り返り、ローカルアジェンダ策定指針、第 2 回分科会打合せ」、 参加委員 8 名</li> <li>・第 7 回運営委員会(11/20) 「第 2 回分科会振り返り、第 3 回分科会打合せ、ユースアジェンダキックオフ大会、ローカルアジェンダ策定指針」 参加委員 9 名</li> <li>・第 8 回運営委員会(1/16) 「第 3 回分科会振り返り、第 4 回分科会打合せ、ローカルアジェンダ策定指針」 参加委員 8 名</li> <li>・第 9 回運営委員会(1/26) 「第 5 回・第 6 回分科会打合せ、ローカルアジェンダ策定指針」 参加委員 8 名</li> <li>・第 10 回運営委員会(2/21) 「第 5.6 回分科会振り返り、C20 打合せ・報告内容の協議、大阪市民サミット」 参加委員 7 名</li> </ul>
--	---

事業名 (継続)	<b>関西 SDGs プラットフォーム運営委員会・総会の参加</b> (事務局:JICA 関西他/近畿経済産業局)
担当	理事:熱田 (事務局:高橋)
実施内容	<p>第 3 回運営委員会(5月 9 日) 場所:近畿経済産業局 大阪合同庁舎第 2 別館 3 階 会議室 B(MRB) 委任状出席</p> <p>第 4 回運営委員会(10 月 3 日) 場所: 関西広域連合 大会議室 (大阪国際会議場 11 階) 出席:熱田</p> <p>第 5 回運営委員会(2 月 18 日) 場所:関西経済連合会会議室(中ノ島センタービル 29 階) 委任状出席</p> <p>定期総会(3 月 24 日) 場所:神戸ポートピアホテル 代理出席:高橋</p>

事業名(継続)	<b>サマセ「国際協力ってなんだろう？」</b>
担当	事務局:高橋、谷川
開催日と開催場所	8 月 4 日土曜日 9:30~10:20 @尼崎双星高等学校
対象・参加者数	近所の学生、ご近所の方々 20 名

内容	いつも食べているアレも、毎日使っているコレも、実は世界とつながっている！？世界の「他人ゴト」が「自分ゴト」にちょっと近づく 50 分間
----	---

事業名 (継続)	関西 NGO 大学「旅する N 大」
担当	関西 NGO 大学運営委員会
実施内容	関西 NGO 大学は、1987 年度に第 1 期の講座を開催し、その後毎年継続して講座を実施し、昨年度の 2016 年度に第 30 期を開催した。30 期の開催をもって、一旦一区切りとし、2017 年度は次の展開を考えるべく、従来のような講座は開催せず、検討と試行の年度となったが、定期的なミーティングは開催。また 30 周年を記念した報告書の作成が検討されている

### 3. 国際協力を促進するための提言活動

事業名 (継続)	提言専門委員会開催、各協議会の参加、JICA 基金の運営及び審査
担当	担当部署:理事会 担当理事: 加藤良太(提言担当理事・NGO-外務省定期協議会 ODA 政策協議会コーディネーター) 熱田典子(副代表・NGO-外務省定期協議会連携推進委員会委員) 栗田佳典(理事・NGO-JICA 協議会コーディネーター)、 河合将生(提言専門委員会外部アドバイザー、JICA 基金運営委員) 事務局:高橋
事業目的と内容	NGOとODA 関連機関との対話の場への参加、コーディネーターを派遣、加盟団体にフィードバックする。 ■NGO-外務省定期協議会(ODA 政策協議会(年3回)、連携推進委員会(年3回)、全体会(年1回)) ■NGO-JICA 協議会(年3回)、NGOの集い(1)、CDN会議(年6回) NGO-JICA 協議会関連 ■JICA 基金運営委員 JICA 基金運営方針の決定及び申請書の審査業務
実施場所	主に東京の外務省、JICA 施設で開催。
受益対象者および人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ODA に関心のある市民、NGO、ODA が実施されている国の市民</li> <li>・外務省及び JICA の支援スキームを活用している NGO、あるいは今後活用を予定している中小規模、新しい NGO</li> </ul>
実施内容	(1)提言専門委員会の開催、JICA 基金の運営及び審査 本年度も 2016 年度に引き続き、理事会が事務局のサポートのもとに直接提言活動を担う体制を取り、委員会は休会とした。 JICA 基金運営委員については、2016 年度に引き続き、河合将生氏(office musubime/個人準会員)に提言専門委員会外部アドバイザーの立場で、理事会・事務局と連携を取りながらその任に当たっていただいた。  (2)各協議会の参加 NGO-外務省定期協議会、NGO-JICA 協議会に委員・コーディネーターを派遣するとともに、以下の会議に出席して議事に加わり、その内容を加盟団体にフィードバックした。  <b>■NGO-外務省定期協議会</b> 詳細・議事録:外務省 ODA(政府開発援助)ホームページ <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000969.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000969.html</a>  <input type="checkbox"/> 全体会議 日程:2018年6月5日(火)14:00~16:00 会場:外務省 8 階南 893 国際会議室 参加:熱田典子、加藤良太 主な議題:平成 29 年度定期協議会振り返りと平成 30 年度定期協議会の重点協議事項  <input type="checkbox"/> 臨時全大会 日程:2018 年 10 月 30 日(火)11:00~12:30 会場:外務省(666 共用国際会議室) 参加:熱田典子、加藤良太

主な議題:「ODAに関する有識者懇談会」、「国際協力 NGO の抜本的強化」、「国際協力 NGO の抜本的強化以外の有識者懇談会のテーマ」

□全大会/臨時全大会

名称	日程	会場	派遣者
全大会	2018年6月5日(火)	外務省南国際大会議室 893号室	熱田・加藤
臨時全大会	2018年10月30日(火)	外務省(666 共用国際会議室)	熱田・加藤

□ODA 政策協議会

担当:加藤良太(理事)

名称	日程	会場	派遣者
第1回	2018年7月31日(火)	外務省内中央 669 会議室	加藤
第2回	2018年12月5日(水)	外務省内南 666 会議室	加藤

主な議題:「プロサバナ事業をめぐる人権状況に関する指摘についての日本政府の対応」「現在の政治状況下における日本の対カンボジア外交と ODA 事業について」

□連携推進委員会

担当:熱田典子(理事)

名称	日程	会場	派遣者
第1回	2018年7月18日(水)	外務省南国際大会議室 893号室	熱田
第2回	2018年11月21日(水)	外務省南国際大会議室 893号室	熱田
第3回	2019年3月7日(木):	(特活)ワールド・ビジョン・ ジャパン 会議室	熱田
タウンミーティング	2019年2月2日(土)	ワンワールドフェスティバル 会議室 5.6	熱田 事務局:高橋、谷川

主な議題:「日本 NGO 連携無償資金協力事業における一般管理費拡充」「日本の国際協力 NGO 強化優先 10 項目」、「国際機関と NGO のパートナーシップ強化のための施策」

■NGO-JICA 協議会

詳細・議事録:JICA NGO との定期会合ホームページ

[https://www.jica.go.jp/partner/ngo\\_meeting/index.html](https://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/index.html)

担当:栗田佳典(理事)

名称	日程	会場	派遣者
第1回	2018年6月13日(水)	JICA 本部 228/229 会議室	栗田
第2回	2018年11月13日(水)	JICA 本部 228/229 会議室	栗田 事務局:高橋(TV 会議)
第3回	2019年3月6日(水)	JICA 本部 228/229 会議室	栗田
NGO の集い	2019年1月11日(金)	プランインターナショナル 会議室	栗田(スカイプ) 事務局:高橋

※本会場と国内拠点、在外事務所を JICA-Net で会議接続を実施している。

	<p>主な議題:「JICA 予算逼迫問題と NGO 支援制度への影響」「草の根技協案件の質の向上」「JICA ボランティアと NGO との連携推進」「国内連携強化」</p> <p>■JICA 基金運営委員会          詳細・運営委員会記録:<a href="https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/08.html">https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/08.html</a></p> <p>担当:河合将生(提言専門委員会外部アドバイザー)          「世界の人びとのための JICA 基金(JICA 基金)」では、過去の NGO-JICA 協議会における協議結果を踏まえ、NGO の知見を JICA 基金の運営に活かすべく、運営委員のうち 2 名はネットワーク型 NGO から選出、年 2 回の JICA 基金運営委員会に参加  <b>【運営委員会・審査会】</b>          第 1 回:2018 年 9 月 21 日(金)場所:JICA 本部 211          第 2 回:2019 年 3 月 26 日(金)場所:JICA 本部</p>
--	---

事業名(継続)	<b>連携推進委員会タウンミーティング</b>
担当	理事:熱田・栗田、事務局:高橋・谷川
協働先	NGO-外務省定期協議会連携推進委員会(委員長今西氏参加)
開催日と開催場所	2019 年 2 月 2 日(土)17:30~18:30 @北区民センター/ワンフェス会場内
対象・参加者数	関西地域に拠点を置く国際協力 NGO、ワンフェスに参加している全国の NGO15 団体
内容	連携推進委員会の概要説明および NGO 支援強化策の説明

その他	JANIC 作成「新たな時代の民間組織による国際協力(案 ver.2)」への対応 <b>質問状の送付、名古屋における三団体会合の開催</b>
担当	担当理事:柏木、熱田 担当部署:理事会 事務局:高橋
協働先	名古屋 NGO センター
期間	12 月末日から 3 月までメールや電話で協議を継続 名古屋会議 2019 年 1 月 30 日 @名古屋 NGO センター
内容	<p>新たな時代の民間組織による国際協力(案 ver.2)と題した新団体の設立及び新たなスキーム案の文書が JANIC 内で作成され、全国のネットワーク NGO はじめ、NGO 全体に関わる ODA スキーム再編に関わる内容であるが、連携推進委員会を通さず有識者懇談会の委員に提出された。名古屋 NGO センターと連名で JANIC に本件に関する質問状を送付。1 月 30 日名古屋 NGO センター事務所にて経緯及び事実関係の確認を行い、問題の指摘をした。その後、JANIC 理事会にて審議。</p> <p>&lt;名古屋会合&gt;          JANIC 代表谷山、事務局長若林          名古屋 NGO センター共同代表理事八木・中島、事務局長戸村、提言専門委員井川          関西 NGO 協議会:柏木、熱田、高橋</p>

## 4. NGO 活動に関する相談・支援活動

事業名(継続)	【受託】外務省 NGO 環境整備事業 国際協力に関する相談対応、出張サービス(ブース出展、講演など) の実施
	担当:高橋、谷川、松岡
実施日時	随時対応、 スタディツアー合同説明会、ワンフェス for Youth 等でのブース出展 青年海外協力隊等募集説明会相談コーナーの設置
実施場所	関西 NGO 協議会事務所、諸会合、講演・セミナー会場、イベントなど
受益対象者および人数	国際協力に関心のある個人、団体、教育機関、企業など 相談数:584 件 出張サービス:21 件
実施内容	当会に寄せられた国際協力、NGO 活動に関する相談、国際協力に関する講演やイベントでのブース出展依頼に対応した。中間組織や業界団体とのネットワーク、NGO と企業、NGO と一般市民との連携や協力関係づくりも意識して取り組み、昨年度に続き、教育関係者や高校生からの講演依頼が増加傾向にある。 近畿ブロック相談員ミーティング(1 回)、国際協力推進員×NGO 相談員会議(1 回)の開催、全国相談員連絡会議(2 回)に参加した。

事業名(継続)	民間助成制度合同説明会
担当	事務局:高橋
開催日と開催場所	7 月 20 日 金曜日 14:30~17:30 @CANVAS 谷町
共催	りそなアジア・オセアニア財団/関西・大阪 21 世紀協会万博記念基金
対象・参加者数	関西地域の国際協力・国際交流 NGO,NPO20 団体
登壇団体	株式会社リタ・ワークス、JICA 関西、りそなアジア・オセアニア財団、関西・大阪 21 世紀協会万博記念基金、JICS(資料のみ)
内容	関西 NGO 助成プログラムの紹介と合わせ、関西を拠点に助成プログラムを実施している助成団体の担当者から審査のポイントや申請書、事業計画書作成のコツなどを解説、終了後は交流会を開催。

事業名(継続)	第 5 回 関西地域 NGO 助成プログラム
担当	理事:東川 事務局:高橋
共催	宗教法人 真如苑
最終審査 (公開プレゼン)	日時:2018 年 10 月 27 日(土) 13:00~18:30 会場:アプローズタワー13 階 貸会議室 5・6 号室 (大阪市北区茶屋町 19-19)
助成期間	2018 年 12 月 1 日~2019 年 10 月 31 日
助成テーマ	①組織基盤強化助成 ②プロジェクト実施助成
助成先	【最終プレゼンテーション実施団体】

	プロジェクト実施助成	1	特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会関西 事務所	フィリピン・イフガオ州における 母子健康管理改善のための事 業化調査	フィリピン
		2	RAFIQ（在日難民との共生ネッ トワーク）	日本に住む難民の実態を知り、 共存の社会を考える冊子の作 成！	国内 （難民支援）
		3	Minami こども教室実行委員会	地域における外国にルーツをも つ子どもの居場所づくり事業 （学習支援、体験学習）	国内 （多文化共生）
	組織基盤	1	在日コリアン青年連合（KEY）	在日コリアン青年 LIFE サポー トプロジェクトを通じた次世代 育成事業	国内 （在日コリア ン）
		2	特定非営利活動法人あおぞら	支援者の輪を広げ、関係を継続 するための組織基盤強化	カンボジア
【採択団体】					
		プロジェクト実施助成		組織基盤強化助成	
		Rafiq	30万円 （満額助成）	あおぞら	60万円 （満額助成）
		Minami こども教室	30万円 （満額助成）	在日コリアン 青年連合会 KEY	16万8千円 （昨年度繰越分）
審査委員会	委員長：新田和宏（近畿大学教授） 審査委員：浦田和久（近畿ろうきん）、中山麻衣子（税理士）、八本俊之（真如苑） 第一次審査：東川貴子（緑の地球ネットワーク事務局長/関西 NGO 協議会理事） 審査協力：島田英樹（真如苑）				

事業名（継続）	第 25 回ワン・ワールド・フェスティバル NGO 相談員ブース
担当	事務局：松岡・谷川・高橋
実施日時	2019 年 2 月 2・3 日（土・日）10:00～17:00
実施場所	北区民センター2F ホール（大阪市北区扇町）
共同出展	NGO 相談員ブース （公社）日本国際民間協力会（NICCO）、（公財）PHD 協会、（特活）国際協力 NGO センター（JANIC）、（特活）アイキャン（ICAN）、（特活）開発教育協会
受益対象者および参加人数	NGO 相談員ブース：NGO 職員、学生、教員など
実施内容	①西日本最大の国際協力イベントであるワン・ワールド・フェスティバルにて、会場となった北区民センター2階に「NGO 相談員ブース」を設営。全国の NGO 相談員でシフトを組み、開催時間を通して常時 2～3 人体制で、国際協力や ODA、NGO に関する質問・相談に対応した。また、ブース付近を通行する不特定多数の来場者、北区民センターで出展する NGO ブースには、NGO 相談員や外務省プログラムのチラシを配布し、相談員制度の広報、制度活用の普及に努めるとともに、プログラム参加を促した。

事業名(継続)	<b>第 25 回セーフ・トラベル・セミナー</b>
担当	個人会員: 榛木
実施日時	2019年4月18日(木)13:00~17:30
実施場所	キャンパスプラザ京都
協働先	(株)マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
受益対象者および参加人数	スタディツアーを企画・実施している NGO スタッフ、高校・大学のスタッフなど約 8 名
実施内容	第 1 部: 基礎から学ぶ危機管理(感染症・旅行保険・旅行業法の基礎知識) 第 2 部: 腸チフス、マラリア、デング熱、アレルギー、テロ、台風などの事例 <b>講師:</b> 乾眞理子氏(公社)日本キリスト教海外医療協力会 元バングラデシュ派遣医師、 副島大典氏(AIG 損害保険(株))、山田和生氏((株)マイチケット)

事業名(新規)	<b>関西 SDGs 基金(仮称)設立準備勉強会・委員会の開催</b>
担当	熱田(関西 SDGs プラットフォーム運営委員) 栗田(NGO-JICA 協議会コーディネーター) 事務局: 高橋
実施日時	①2018年10月26日(金)15:00~17:00 アジア協会アジア友の会事務所 ②2019年3月28日(木)16:00~17:00 関西 NGO 協議会
協働先	JICA 関西
実施内容	①第 1 回「地域基金に関する勉強会」 ・京都地域創造基金の経験から、立ち上げの経緯、運営時の留意点、活動内容 ・関西の地域基金として、どのような基金を目指していくかなど、基金の求められる像 <b>【参加者】</b> 可児卓馬(京都地域創造基金 事務局長)※事例報告 石崎重之(近畿大学社会連携推進センター事務局長) 山本高久 氏(大阪商工信用金庫 常務理事) 中島泰子 氏(近畿経済産業局通商部国際課 課長補佐) 西野恭子(JICA 関西 所長) 田和正裕(JICA 関西 次長) 加藤健(JICA 関西市民参加協力課 課長) 伴大地(JICA 関西 SDGs プラットフォーム) 諸永浩之(JICA 国内事業部市民参加推進課 課長) 熱田典子((公社)アジア協会アジア友の会/NGO-外務省連携推進委員) 河合将生(office musubime/関西 NGO 協議会提言専門外部アドバイザー・JICA 基金運営委員) 栗田佳典((認定特活)テラ・ルネッサンス/NGO-JICA 協議会コーディネーター) 高橋美和子((特活)関西 NGO 協議会)  ②第 2 回「設立準備委員会キックオフ大会」 ・関西 SDGs 基金イメージ共有および勉強会論点整理について ・準備委員会の開催数、委員候補について <b>【参加者】</b> 石崎重之(近畿大学社会連携推進センター事務局長) 山本高久 氏(大阪商工信用金庫 常務理事) 田和正裕(JICA 関西 次長) 加藤健(JICA 関西市民参加協力課 課長) 栗田佳典((認定特活)テラ・ルネッサンス/NGO-JICA 協議会コーディネーター) 高橋美和子((特活)関西 NGO 協議会)



## 5. NGO 活動に関する人材育成事業

事業名(継続)	※大阪コミュニティ財団、ボランティア活動振興基金 高校生国際協力・多文化共生ボランティアリーダー育成プロジェクト																															
担当	理事:吉椿 事務局:谷川 協力団体:(一社)ソーシャルギルド 山本佳史氏・江熊遊斗氏、																															
実施日時・実施場所	日程:下記表を参照 場所:関西 NGO 協議会、大阪 YMCA、RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク事務所など																															
受益対象者・人数	関西地域の高校に通う高校生:20名、大学生:3名																															
研修講師	【研修講師】 山本佳史氏・江熊遊斗氏 (一社)ソーシャルギルド																															
実施内容	<p>次世代の市民社会を担う若者の育成を目的に平成28年度より継続実施している。3年目となる今年度は①ボランティアマネジメントを学ぶ研修(ファシリテーション・チームビルディング等)、②実践の場としての「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」での当日運営、③地域で活動する NGO での講演や活動参加を行う研修を3つの柱として実施した。</p> <p>研修を通して高校生達は積極的に自ら地域のボランティア活動に参加する事例、卒業生が地域活動や NGO のインターン活動へ参加する事例など、人材育成の効果を感じられる事例も見られた。また、本研修の卒業生からの希望で、OBOG3名が大学生サポーターとして活動に関わり、高校生を支えたとともに NGO の主催するイベントや市民活動への更なる参加につながった。こととなり、卒業後もメンターとして本事業に関わりたいという声もでてきている。</p> <p>今後は事務局のキャパシティを考慮しワンフェスユース事業へ統合の上、研修の規模を縮小して継続を予定している。本事業の卒業生の協力も得ながら、若い世代の国際協力活動・市民活動への参加を積極的に促す。</p> <p>【開催日程・研修内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>研修内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月22日(日)</td> <td>メンバー顔合わせ、事業概要説明、チームビルディング研修</td> </tr> <tr> <td>8月8日(水)</td> <td>大学生サポーターミーティングの実施(活動内容・役割分担について)</td> </tr> <tr> <td>9月16日(日)</td> <td>チームビルディング研修とボランティア概論、スケジュールの決定</td> </tr> <tr> <td>10月8日(月・祝)</td> <td>ボランティアマネジメントに関する研修</td> </tr> <tr> <td>10月28日(日)</td> <td>現役生・卒業生の同窓会・交流会の実施(於:大阪 YMCA)</td> </tr> <tr> <td>11月11日(日)</td> <td>参加者の意識共有、リーダーの役割確認、会議ファシリテーションの実践</td> </tr> <tr> <td>11月23日(金・祝)</td> <td>ボランティアマネジメント研修:当日役割分担と空き教室の活用方法検討</td> </tr> <tr> <td>12月8日(土)</td> <td>ボランティアマネジメント研修:当日のトラブル想定と対応準備</td> </tr> <tr> <td>12月16日(日)</td> <td>ボランティアマネジメント研修:当日のボランティア説明会の運営および説明内容(マニュアル)について協議</td> </tr> <tr> <td>12月23日(日)</td> <td>「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」の会場準備 当日シミュレーション、マニュアル読み合わせ、</td> </tr> <tr> <td>12月24日(月・休日)</td> <td>当日運営。当日ボランティアのマネジメント</td> </tr> <tr> <td>1月20日(日)</td> <td>イベントでのボランティアリーダー活動振り返り、事業後半の目標の共有</td> </tr> <tr> <td>2月11日(月・祝)</td> <td>「地域の在住外国人が抱える課題と多文化共生社会の実現」をテーマに村西優季氏(NGO 神戸外国人救援ネット)より講演。 次年度のリーダーのための活動紹介動画の作成について協議</td> </tr> <tr> <td>3月17日(日)</td> <td>RAFIQ 在日難民との共生ネットワークの事務所を訪問し、「在日難民が抱える課題と支援の現状」をテーマに田中恵子氏(RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク)より講演。「なんみんハウス」を見学。 高校生ボランティアリーダーの今年度事業に対する全体振り返り</td> </tr> </tbody> </table>		日程	研修内容	7月22日(日)	メンバー顔合わせ、事業概要説明、チームビルディング研修	8月8日(水)	大学生サポーターミーティングの実施(活動内容・役割分担について)	9月16日(日)	チームビルディング研修とボランティア概論、スケジュールの決定	10月8日(月・祝)	ボランティアマネジメントに関する研修	10月28日(日)	現役生・卒業生の同窓会・交流会の実施(於:大阪 YMCA)	11月11日(日)	参加者の意識共有、リーダーの役割確認、会議ファシリテーションの実践	11月23日(金・祝)	ボランティアマネジメント研修:当日役割分担と空き教室の活用方法検討	12月8日(土)	ボランティアマネジメント研修:当日のトラブル想定と対応準備	12月16日(日)	ボランティアマネジメント研修:当日のボランティア説明会の運営および説明内容(マニュアル)について協議	12月23日(日)	「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」の会場準備 当日シミュレーション、マニュアル読み合わせ、	12月24日(月・休日)	当日運営。当日ボランティアのマネジメント	1月20日(日)	イベントでのボランティアリーダー活動振り返り、事業後半の目標の共有	2月11日(月・祝)	「地域の在住外国人が抱える課題と多文化共生社会の実現」をテーマに村西優季氏(NGO 神戸外国人救援ネット)より講演。 次年度のリーダーのための活動紹介動画の作成について協議	3月17日(日)	RAFIQ 在日難民との共生ネットワークの事務所を訪問し、「在日難民が抱える課題と支援の現状」をテーマに田中恵子氏(RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク)より講演。「なんみんハウス」を見学。 高校生ボランティアリーダーの今年度事業に対する全体振り返り
日程	研修内容																															
7月22日(日)	メンバー顔合わせ、事業概要説明、チームビルディング研修																															
8月8日(水)	大学生サポーターミーティングの実施(活動内容・役割分担について)																															
9月16日(日)	チームビルディング研修とボランティア概論、スケジュールの決定																															
10月8日(月・祝)	ボランティアマネジメントに関する研修																															
10月28日(日)	現役生・卒業生の同窓会・交流会の実施(於:大阪 YMCA)																															
11月11日(日)	参加者の意識共有、リーダーの役割確認、会議ファシリテーションの実践																															
11月23日(金・祝)	ボランティアマネジメント研修:当日役割分担と空き教室の活用方法検討																															
12月8日(土)	ボランティアマネジメント研修:当日のトラブル想定と対応準備																															
12月16日(日)	ボランティアマネジメント研修:当日のボランティア説明会の運営および説明内容(マニュアル)について協議																															
12月23日(日)	「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」の会場準備 当日シミュレーション、マニュアル読み合わせ、																															
12月24日(月・休日)	当日運営。当日ボランティアのマネジメント																															
1月20日(日)	イベントでのボランティアリーダー活動振り返り、事業後半の目標の共有																															
2月11日(月・祝)	「地域の在住外国人が抱える課題と多文化共生社会の実現」をテーマに村西優季氏(NGO 神戸外国人救援ネット)より講演。 次年度のリーダーのための活動紹介動画の作成について協議																															
3月17日(日)	RAFIQ 在日難民との共生ネットワークの事務所を訪問し、「在日難民が抱える課題と支援の現状」をテーマに田中恵子氏(RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク)より講演。「なんみんハウス」を見学。 高校生ボランティアリーダーの今年度事業に対する全体振り返り																															

	※大阪市ボランティア活動振興基金 「高校生等若者による国際協力・多文化共生ボランティアチーム創設プロジェクト」 ※大阪コミュニティ財団「多文化共生・国際協力活動を通じた高校生ボランティアリーダー育成事業」
--	--

事業名(継続)	<b>【受託事業】 JICA NGO 等提案型プログラム</b> <b>SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた国際 NGO と地域の NPO や他セクターの連携促進を担う人材/団体の育成事業</b>
担当	事務局/高橋・佐久間 ※佐古・石井(5月末日まで) 運営委員/伊藤愛氏((公財)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所)、梅田純平氏((社福)大阪ボランティア協会)、岡島克樹氏(大阪大谷大学)、河合将生氏(office musubime)、外間孝次氏((一財)H <sub>2</sub> O サンタ・阪急阪神百貨店)
実施日時・内容	<input type="checkbox"/> シンポジウム 『セクターを超えて考える取り組む誰も取り残さない社会 ～持続可能な開発目標(SDGs)と子どもの貧困～』 <b>【日時】</b> 5月11日(金)14:00～17:30 <b>【場所】</b> 大阪大谷大学ハルカスキャンパス <b>【運営員】</b> 伊藤愛(セーブ・ザ・チルドレン大阪事務所)、梅田純(大阪ボランティア協会) 岡島克樹(大阪大谷大学)、河合将生(office musubime) 外間孝次(一般財団法人 H2O サンタ・阪急阪神百貨店) ・運営委員:同上 ・関西 NGO 協議会スタッフ:5名(石井、佐古、高橋、谷川、岩崎) ・協力:山本佳史(大和ハウス工業) <b>【参加者】</b> 102名 一般参加者 80名(NGO/NPO、教育機関、企業、地方行政、地方議員) 関係者 22名(JICA、関西 NGO 協議会、講師)  <input type="checkbox"/> 運営委員会 <b>【会場】</b> 関西 NGO 協議会 第3回運営委員会 2018年6月5日(木)13:00～15:00 第4回運営委員会 2018年9月27日(木)15:00～17:00 第5回運営委員会 2019年3月7日(木)17:00～19:00  <input type="checkbox"/> 研修前フィジビリティスタディ ①認定 NPO 法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 <b>【日時】</b> 8月8日(水) 13:30-16:00 <b>【場所】</b> 同団体事務所(京都市・伏見区) ②Bokk Jambor (ボックジャンボール) <b>【日時】</b> ①8月9日(木) 10:00-12:00、②8月29日(水) 10:00-12:00 <b>【場所】</b> 関西 NGO 協議会 研修室  <input type="checkbox"/> 研修 <b>【第1回】</b> 1月28日(月)『SDGsと団体の関係を理解・把握する』 <b>【第2回】</b> 2月27日(水)『SDGsを活用して活動を計画する』 <b>【第3回】</b> 3月11日(月)『多様な連携のかたち:NGOと企業の連携を中心に実践例から学ぶ』 <b>【会場】</b> 株式会社オカムラ関西支社内 Open Innovation Biotope ‘bee’ 石井大輔(ファンドレイジングのレシビ)、 伊藤愛(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)

	<p>梅田純平(社会福祉法人大阪ボランティア協会)          岡島克樹(大阪大谷大学人間社会学部)          河合将生(office musubime)          外間孝次(株式会社阪急阪神百貨店/一般社団法人 H2O サンタ)          山本佳史(大和ハウス工業株式会社)          運営委員ならびに関西 NGO 協議会スタッフ:3名(高橋、佐久間、谷川)  <b>【第1回】</b> 17 団体 37 名、関係者:12 名  <b>【第2回】</b> 16 団体 32 名、関係者:10 名  <b>【第3回】</b> 16 団体 29 名、関係者:11 名          *オブザーバーを含む。          *NGO/NPO、企業、地方行政、地方議員、学生団体からの参加あり。          *関係者には講師・運営委員、会場担当者、JICA 関西職員、関西 NGO 協議会担当者を含む</p>
実施場所	大阪聖パウロ教会 4 階研修室、アクセス-共生社会をめざす地球市民の会 株式会社オカムラ関西支社内 Open Innovation Biotope 'bee'
協働先	JICA 関西

事業名(継続)	<b>インターン受け入れ</b>
担当	事務局:谷川
インターン	第2回ワンフェスユースのボランティア、第3回ボランティアリーダーとして参加した米川愛(大阪教育大学1年)さんを9月~3月まで受け入れた。主に、ワンフェスユース広報業務、ボランティアリーダー育成事業を大学生チームとして担当した。

## 6. 組織、事務局

理事会	2018 年度理事会の開催
担当	事務局：高橋
理事	<p>代表理事 柏木宏 大阪市立大学教授 副代表理事 熱田典子 (公社)アジア協会アジア友の会</p> <p>栗田 佳典 (特活)テラ・ルネッサンス (ワンフェス forYouth) 田尻 忠邦 (公財)大阪 YMCA (CS ネットワークフォーラム/ワンフェス forYouth) 東川 貴子 (特活)緑の地球ネットワーク (関西地域 NGO 助成プログラム) 三輪 敦子 (特活)AM ネット PCD 研修担当 (PCD 研修) 吉椿 雅道 (特活)CODE 海外災害援助市民センター (高校生 VL 研修) 加藤 良太 OIKOLABO 代表 (政策提言) 平岩 久里子 池坊短期大学教員 (広報) 村尾 佳子 グロービス経営大学院経営研究科副研究科長/常務理事 (CS ネットワークフォーラム) ※高橋美和子 (特活)関西 NGO 協議会(職責)</p>
監事	岩崎裕保 (特活)開発教育協会/DEAR 武田かおり(特活)AM ネット
選挙管理委員	榛木恵子 (特活) 関西 NGO 協議会個人会員 武田かおり (特活)AM ネット事務局長

実施内容	【理事会】会場:大阪聖パウロ教会 4 階 事務所横研修室		
	回数	日程	議題
	第 1 回	2018 年 5 月 19 日(土)	①代表・副代表理事の確認 ②常任理事会規定の承認、役員の業務分担 ③役員交通費及び謝金規定
	第 2 回	6 月 20 日(木)	①事務局人員体制、事務局長不在の件 ②C20 市民社会プラットフォーム幹事団体
	第 3 回	7 月 17 日(火)	第 1 回事業評価会
	第 4 回	8 月 31 日(水)	①ReBIRTH 見直し中長期計画 ②事務局人員体制 ②KANSAI-SDGs 市民理事会マターの承認
	第 5 回	10 月 4 日(水)	①ReBIRTH 見直し中長期計画 ②協議会を代表して行事に参加する際の内規
	第 6 回	2019 年 1 月 16 日(水)	①理事選挙行程・選挙管理委員会の決定 ②元職員選挙フライヤーに関する対策 ③JANIC 案「新たな時代の民間組織による国際協力(案 ver.2)」
	第 7 回	2 月 21 日(木)	①理事選挙行程・選挙管理委員会の決定 ②ReBIRTH 見直しと事業計画 ③関西 SDGs 基金構想 ④地球環境基金委託先担当理事との音信不通
	第 8 回	3 月 7 日(水) 18:00~21:00	①2019 年度活動計画書・予算書 ②2019 年度事務局アワー、職員体制 ③理事選挙立候補者の確認など
	第 9 回/ 臨時理事会	5 月 9 日(木)	①総会資料の確認 ②理事選挙に関する臨時理事会
臨時理事会	5 月 22 日(水)	理事選挙に関する有効性	
【監査】会場:大阪聖パウロ教会 4 階 事務所横研修室			
5 月 16 日(木)	監事の岩崎・武田により、2018 年度会計・業務監査が実施された。事務局高橋が出席		

任理事会	<b>2018 年度常任理事会の開催</b>
常任理事	柏木宏(代表理事)、熱田典子(副代表理事) 事務局:高橋
実施日	【会場】関西 NGO 協議会事務局、大阪市立大学梅田サテライトキャンパス 開催が必要な場合適宜開催

2018 年度事務局体制	
事務局スタッフ	高橋美和子(事務局 7 月～・職責理事) 谷川詩織(広報・啓発事業担当マネージャー) 佐久間量子(研修事業担当) 松岡秀紀(かんさい CS ネットワークフォーラム、NGO 相談員担当) 佐古瑞穂(研修事業補助 5 月末日まで) 石井大輔(SDGs 研修担当 5 月末日まで)
アルバイト	岩根あずさ (ワンフェスユース補助/大阪大学大学院生) 石中温香 (KANSAI-SDGs 市民アジェンダ)
インターン	米川愛 (ユース事業/大阪教育大学 1 年生)
ボランティア	中村順子、和田みのり、鳥飼卓、前山隆博

2018 年度ワンフェス forYouth 運営委員会	
運営委員長 監事	運営委員長 林田雅至(大阪大学教授) 副運営委員長 杉浦真理(立命館宇治高校教員) 栗田佳典((特活)テラ・ルネッサンス) 監事 田中めぐみ(京都女子高校教員) 坂西卓郎((公財)PHD 協会)
運営委員 (所属組織)	・大阪府立狭山高等学校 ・大阪府立堺東高等学校 ・大阪府立佐野高等学校 ・大阪府立渋谷高等学校 ・大阪府立北摂つばさ高等学校 ・大阪府立松原高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・神戸龍谷中学校高等学校 ・灘中学校・高等学校 ・京都女子高等学校 ・立命館宇治中学校・高等学校 ・立命館守山中学校・高等学校 ・YMCA 学院高等学校 ・東アジア青少年歴史体験キャンプ ・大阪大学 CO デザインセンター ・(公社)アジア協会アジア友の会 ・(公財)大阪 YMCA ・(特活)開発教育協会 ・(特活)テラ・ルネッサンス ・(公財)PHD 協会 ・(特活)Le Ciel ・(特活)関西 NGO 協議会※事務局
事務局	谷川詩織、高橋美和子、佐久間量子

2018 年度ワンフェス forYouth 高校生実行委員会	
実行委員長 顧問	・実行委員長: 梅原恋子(京都女子高校)

	・副実行委員長： 倉岡史果(大阪府立松原高校) 北出裕津季(大阪府立花園高校) ・顧問： 杉浦真理(立命館宇治高校教員)
実行委員 11 名 (所属高校)	・大阪府立松原高等学校 ・大阪府立花園高等学校 ・三田学園高等学校 ・京都女子高等学校 ・立命館宇治高等学校 ・立命館守山高等学校
事務局	谷川詩織、高橋美和子

2018 年度ボランティアリーダー育成	
講師・コーディネーター	・全体講師 山本佳史・江熊遊斗((一社)ソーシャルギルド) ・ゲスト講師 村西優季(NGO 神戸外国人救援ネット)、田中恵子(RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク)
高校生リーダー	・リーダー：中岡陽希 ・サブリーダー：岡本慧、四方康介、李嘉美 関西(滋賀・京都・大阪・兵庫)関心のある高校生約 20 名が参加
大学生サポーター	熊亮太郎、吉岡真凜、米川愛
事務局	谷川詩織・高橋美和子

2018 年度関西地域 NGO 助成プログラム審査委員会	
審査委員	新田和宏(近畿大学教授/個人会員) 浦田和久(近畿ろうきん地域共生推進室) 中山麻衣子(税理士) 八本(真如苑社会交流部/賛助会員)
理事	東川貴子
事務局	高橋美和子

2018 年度 SDGs 研修運営委員会	
運営委員会	伊藤愛 (公財)セーブ・ザ・チルドレン ・ジャパン大阪事務所 梅田純平 (社福)大阪ボランティア協会 岡島克樹 大阪大谷大学 河合将生 office musubime 外間孝次 (一財)H <sub>2</sub> O サンタ・ (株)阪急阪神百貨店
事務局	佐久間量子、高橋美和子